

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和6年度 第1回 桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者会議
開催日時	令和6年11月14日（木） （開会）午後2時30分・（閉会）午後3時45分
開催場所	桶川市役所5階 全員協議会室
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	岩崎委員、白石委員、田中委員、家徳委員、 坂田委員、町田委員、比留間氏（都築委員代理）、竹内委員
欠席者氏名 （委員）	砂川委員、山中委員、柳田委員、新妻委員、吉田委員、 大江田委員
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 本庄部長、向井副部長 企画調整課 棚橋係長、野原主任
会 議 事 項	議 題
	<p>【概要説明】 （1）現戦略の概要について</p> <p>【議題】 （1）成果指標の達成状況について （2）中学生まちづくりアンケートの結果について</p>
	決定事項等
	<p>■本日の御意見等を踏まえ、今後の施策や取り組みを推進する。</p>
配布資料	<p>資料1・・・総合戦略の概要</p> <p>資料2・・・桶川市の人口推移等</p> <p>資料3・・・年齢別人口動向等</p> <p>資料4・・・社会動態・自然動態の推移</p> <p>資料5・・・成果指標の推移一覧</p> <p>資料6・・・中学生まちづくりアンケート実施結果概要</p> <p>補足資料1・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者 会議委員名簿</p> <p>補足資料2・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者 会議設置要綱</p> <p>補足資料3・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
概要説明 (1) 現戦略の概要について	
事 務 局	資料 1 ～ 資料 4 に基づき、現戦略の概要について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	資料 1 の将来目標人口における年少人口や生産年齢人口は、事務局で独自に定義したものでですか。
事 務 局	年少人口は 0 歳から 14 歳、生産年齢人口は 15 歳から 64 歳、老年人口は 65 歳以上で、国の人口推計等の区分に用いられるものと同様のものとなります。
委 員	資料 2 の 3. 通勤・通学先について、雇用等を東京都心やさいたま市に依存しているという説明がありましたが、市内の方が市内の企業で働いているケースもあると思います。 市内で働く人の状況について、補足していただければと思います。
事 務 局	令和 2 年の国勢調査の結果によりますと、市内就業者数は約 36,000 人、そのうち約 3 割となる約 11,500 人の方が市内で働いている状況です。
委 員	資料 1 の将来目標人口に関連して、年度毎の人口推計の数値を把握されていると思いますが、現状では年度毎の目標値を上回って推移しているという理解でよろしいでしょうか。
事 務 局	将来目標人口の達成に向け、第 1 期計画時から、住宅都市として、一貫して都市基盤整備や子育て支援策などの諸施策を展開し、現時点において、目標人口を上回っている状況です。
委 員	ライフサイクルの好循環に向け、子育て世代の転入促進が重要という説明がありましたが、子育て世代の転出入の状況を数値的に把握されていたら、補足していただければと思います。
事 務 局	資料 3 の年齢別人口動向を見ますと 20 代後半から 30 代にかけて基準値の 1 を上回っており、人口増の傾向にあります。同様に、0 歳から 6 歳までの未就学児も人口増の傾向にあります。 このため、子育て世代が多く転入してきている状況にあると理解しております。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
議題 (1) 成果指標の達成状況について	
事 務 局	資料5に基づき、成果指標の達成状況について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	なし
議題 (2) 中学生まちづくりアンケートの結果について	
事 務 局	資料6に基づき、中学生まちづくりアンケートの結果について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	Q6の好きではない理由について、②楽しく遊べる場所が無いからという理由が最も多くなっていますが、その原因はどのようにお考えでしょうか。
事 務 局	本調査では、回答理由を深掘りする設問は設けておりませんが、他の調査では、好きなことを自由にして過ごせる広場のような場所のニーズが高くなっています。 また、中学2年生になると行動範囲も広がるため、遊びとして、アミューズメント施設等もニーズとして想定されます。
委 員	Q4で桶川市のことが好きな子どもの数値が7.7ポイント向上したことは評価できると思います。 地区別分析については、市街化調整区域に位置する地区では、絶対数が少ないため、回答構成比の振れ幅が大きくなる傾向があると思います。このため、施策を検討する際には、その点にも留意した方がよいと考えます。【意見】
委 員	他の自治体と比較して、桶川市の特長や強みは何でしょうか。また、それをどのように生かし、転入増に結びつけていくことを考えていますか。
事 務 局	本市を含め、県央地域の自治体は大宮台地に位置し、比較的地震災害に強い傾向や、都心への通勤圏という地勢上の強みがあると考えております。 加えて本市は、市域東西に圏央道のインターチェンジを有し、広域交通の要衝としての優位性があると考えております。家族でのお出かけなど生活利便のほか、令和7年3月の開業に向け、上尾道路の沿道において、道の駅「べに花の郷おけがわ」の整備を進めており、交流人口の増加や観光拠点としての地域振興など、地域経済の活性化も含め、人口増に繋げていければと考えております。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委 員	<p>アンケートの結果について、子どもは活動範囲が狭いので、学校生活の状況も影響するのではないかと感じました。また、中学1年生の総合の授業の中で、桶川市について学んでいるので、中学2年生にアンケートをするのは、タイミングとしては適切だと思います。【意見】</p> <p>また、資料2で、人の流れが東京都心や県南の方に向かっていくことを説明いただきましたが、高校への進学についても同様の傾向が見られます。本市にも県立高校が2校ありますが、比較的駅から遠い場所に立地していますので、各校へのアクセスを確保・充実することも大切なことだと思います。【意見】</p>
委 員	<p>子どもの感じ方や考え方は、年齢とともに変わっていきます。そういった意味で、中学2年生をアンケート調査の対象とするのは少し幼いのではないかと感じました。もう少し対象年齢を上げてはどうでしょうか。</p>
事 務 局	<p>近年、子どもや若者の意見を政策等に取り入れていくことの重要性が高まっています。このような背景を踏まえ、受験や学校行事等とのタイミングを考慮し、中学2年生を対象にアンケート調査を実施しております。</p> <p>子どもの考え方の変化については、18歳以上の市民3,000人を対象に定期的に行っている市民意識調査と併せ、分析・把握していければと考えておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p>
委 員	<p>社会増については、大規模な宅地開発の有無が大きな影響を与えます。比企郡では、人口減少が進む自治体が多い中、滑川町では、つきのわ駅周辺で宅地開発が進み、人口が増加しています。</p> <p>桶川市では、社会増に寄与する事業として、大規模な宅地開発や市街化区域の拡張、幹線道路の整備の予定はありますか。</p>
事 務 局	<p>本市は、長年、住宅都市基盤整備として、土地区画整理事業を推進してきました。これが奏功し、人口が増加してきましたが、事業が一段落したことから、今後、人口は緩やかに減少していくものと推察しています。</p> <p>現在、民間による大規模な宅地開発、住宅系の市街化区域の拡張、沿道開発など人口増につながる幹線道路の整備の予定はございません。</p>
委 員	<p>駅東口の周辺を住宅系の用途に変更する予定はありますか。</p>
事 務 局	<p>現在、駅東口は、駅前広場等の都市基盤整備や、駅前広場に接する小学校跡地の土地活用について検討を進めています。周辺は、既成市街地となっており、住宅供給を面的に行うまとまった空地も存在しないことから、現時点では、住居系の用途地域を新たに指定する予定はないところです。</p>
委 員	<p>転入者の増加に向けて、災害に強いまちという視点でPRしてはどうでしょうか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事 務 局	<p>市民意識調査では、本市の住みよい理由として、「災害の心配が少ない」ことが上位となっていますが、近年は、地球温暖化等の影響もあり、本市においても、災害は激甚化の傾向にあると受け止めています。災害の発生は、自然現象のため、行政がコントロールすることに限界があることから、PRとして用いるには課題があると感じています。</p>
座 長	<p>高齢化が進む中、お住いの方が施設入所されるなどし、街中でも空き家が増えています。一方、昔ながらの家は、敷地面積が広いことから、立地環境が良い場所では、敷地を分割して分譲住宅として販売されるなどし、人口増につながっています。</p> <p>また、空き家にならず、住み替えがうまく進んだ住宅地は、子育て世代が増え、地域の活気につながっており、桶川市内でもそういった地域があります。</p> <p>今後、一層増加していく空き家の数をどのように抑えていくのかが、まちづくりにおいて重要な課題となります。この点について、どのように考えているか教えてください。</p>
事 務 局	<p>人口減少により、今後一層増加する空き家を、どのように抑え、まちの活気に繋げていくのかが、課題となっています。先の報道にございでしたが、埼玉県は、2050年には単身世帯が4割を超えると推計されています。この一人暮らしの増加は、未婚や少子化も影響しています。</p> <p>空き家とならず、住み替えが進み、子育て世代が増加している地域では、多世代交流など良好な地域コミュニティの形成を図る必要があります。また、結婚や子どもを持ちたい方が、その希望を叶えることができる社会の形成が、一人暮らしの増加を抑止することにつながってまいります。本格的な縮小社会を迎え、基礎自治体として、出来ることには、限りがありますが、子育て支援や高齢者福祉など様々な施策を関連付けて、推進していく必要があると認識しています。</p>
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
委 員	それでは、本日いただいたご意見を踏まえ、今後の施策や具体の取り組みを進めていただければと思います。
事 務 局	承知いたしました。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
その他	
座 長	事務局や委員の皆様から、ご意見のある方はいらっしゃいますか。
委 員	質問等なし。
座 長	それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者会議を閉会いたします。お疲れ様でした。